

次世代配合設計「MDS」

メデイビツク

配合設計パッケージソフトウエアを展開するメデイビツク（東京都港区、橋本康弘社長）は、次世代配合設計データベースである「MDS配合設計データベース」を好評展開している。

「MDS配合設計データベース」は、Mixture Design Support Systemの略で、配合設計や実験設計向けの「原料」プロセス「工程」評価データの一元管理が可能で、原料配合情報管理システム。特許出願（No.2009-129150）もされている。同システムは配合設

現場の開発研究 ゴム 課題を解決

設定機能⑥評価設定機能⑦グラフ比較機能⑧マルチ検索機能⑨検索結果一括閲覧機能⑩マスター管理機能がある。このため、熟練者から初心者まで、配合設計や実験設計を行う全ての技術者向けに、原材料やプロセスなど一覽視に長けたインターフェースが構築されている。また蓄積されたデータを比較し、結果を多彩なグラフ機能により、必要に応じて確認もできる。

また検索機能では、簡単な繊密な条件設定方法により、蓄積されたデータを効率的に検索や閲覧することができ、さら

に画面に表示されているデータを、画面上で検索や閲覧することができ、さら

に画面に表示されているデータを、画面上で検索や閲覧することができ、さら

に画面に表示されているデータを、画面上で検索や閲覧することができ、さら

に画面に表示されているデータを、画面上で検索や閲覧することができ、さら

に画面に表示されているデータを、画面上で検索や閲覧することができ、さら

に画面に表示されているデータを、画面上で検索や閲覧することができ、さら

に画面に表示されているデータを、画面上で検索や閲覧することができ、さら

に画面に表示されているデータを、画面上で検索や閲覧することができ、さら

技術の伝承が急務となっているが、システム化などが遅れ気味であることで、進展しづら

いのが現状。この様な状況の改善に最適なのが「MDS配合設計データベース」であり、配合設計から製造現場における作業効率化、コストダウン、ノウハウの散逸防止など、ゴム製品の原材料段階から製品化に至る全過程をカバーし、システム構築の実現を可能としている。

このためメデイビツクでは、ゴム業界に向けて積極的な取扱を図っている。

問合せは同社事業開発部システム・解析グループ（東京都港区西

新橋2-11-6 ニュー

西新橋ビル5階 ☎03・6744・255

4）まで。

作業効率向上やコストダウンに有効